

ファイナルレポート

(日本語抄訳版)



2023年10月20日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

Tube China 大盛況のうち閉幕

2023年6月14日-16日、Shanghai New International Expo Centre(SNIEC・上海)で開催された、Tube Chinaが無事閉幕しました。

3日間の会期中、14か国と地域から332の出展者が集い、前回と比べ30%増加しました。その中には、ドイツ、カナダ、イタリア、オーストリア、フランス、日本、韓国などの国際的な有名ブランドも含まれており、展示会の国際性が豊かで、国内のバイヤーは国内にいながらにして最先端の製品や技術、ソリューションを見聞きする機会を得ることができました。

Tube Chinaは、サプライヤー、バイヤー、生産者、消費者、投資家、そして革新的なプロジェクトのすべてがこの壮大なイベントに参加する魅力的な「双方向の旅」となっており、このTube Chinaというプラットフォームを活用することで、新たなビジネスチャンスを生み出しました。

今回、総勢22,365人の来場者をお迎えし、米国、日本、韓国、シンガポール、ブラジル、ロシア、インド、タイ、ベトナム、アルバニア、中国台湾、香港など53の国と地域から業界関係者が来場されました。主催者は、ブランドの展示、効率的な調達、技術交流を統合し、産業チェーン全体をカバーする専門的なプラットフォームを構築するために尽力いたしました。このプラットフォームは、中国市場に焦点を当て、アジア市場にその範囲を拡大し、中国における業界の経済回復と国際的な情報交換を促進することに専念しています。

会期中に同時開催された「中国国際鋼管サミット」は、業界から大きな注目を集めました。このイベントは、国内外の著名な業界専門家やプロフェッショナルを招き、業界における最新の話や先端技術について意見交換、最新動向を探るもので、ITA 国際鋼管協会、中国鉄鋼建設協会鋼管支部の代表をはじめ、SMSグループ、JFEスチール、中信特殊鋼、九里特殊材料、ネオティス溶接管、上海ボイラー工場、承德特殊鋼、宝鋼、宝宇などの有名企業が印象的なスピーチを行いました。

もう一つの専門セミナー「熱処理技術セミナー」も会期中に開催されました。このセミナーではパイプ製造に使用される熱処理プロセスや技術を一堂に集め、インダクトサーム・グループ、HANDUK R-FECO、EFDなどの企業が、最新の熱処理技術や設備を紹介しました。

Tube China は、国際的な管材産業発展のバロメーターとして、これまで 10 回開催され、業界関係者から高い評価を得てきました。今後も”global integration, shared development”のコンセプトを堅持し、国内外の貿易交流をつなぐワンストッププラットフォームの構築に尽力してまいります。

Tube China 2023 にご参加いただきありがとうございました。そして次回 Tube China 2024 でまたお会いしましょう！

- 本件のニュースリリース（英語オリジナル）は [こちら](#) からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Messe Düsseldorf (Shanghai) Co., Ltd. / Ms. Vivian Huang Vivian.huang@mds.cn

Ms. Charlotte Shi charlotte.shi@mds.cn

【日本でのお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：秋庭

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp